事業概要【都会へのあこがれ対策プロジェクト】

申請者	愛媛県				初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	405,294千円 (139,102千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労体験等による県内就職の促進やデジタル人材の育成・定着の促進に取り組み、県内就職率の低下を防ぐ。 ・ 移住の促進や地域産業への定着の促進を図ることで、愛媛県南予地域の急激な人口減少を抑制する。 ・ 県内在住者の若者や県外転出者等へのアプローチを図りUIターン者を増加や、県外転出者数の減少を実現する。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 就労・実務体験や情報発信等を通し、若者に地域の魅力を伝えることで、移住潜在層の掘り起こし、転出抑制を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリアチャレンジ for College18,914千円 (委託料、事務経費) ・愛媛版ワーキングホリデー・サークル・ゼミ合宿の誘致・県内企業の課題解決アイデア創発イベント ○デジタル人材定着支援 ・クラウドソーシングによる実務経験を通じた実践的なスキル習得、地元定着のためのキャリア支援19,000千円 (委託料) ・デジタル技術を活用しながら企業や地域の課題を解決する活動、企業との継続的な交流による県内定着促進22,000千円(委託料) ○南予移住認知度拡大プロモーション24,000千円 (委託料) ・南予9市町での移住体験動画作成・配信・地域住民、移住者との現地交流会の開催 ○えひめ水産業次世代人材育成 ・学校及び水産業界をコーディネートする有識者の配置3,918千円 (コーディネーター人件費・旅費、事務経費 等) ○若者特化型人口減少対策意識啓発 ・CRMと連動したメルマガの創設7,776千円 (委託料) ・交流会等の開催17,338千円 (委託料、講師謝金旅費) ○関西圏で働く若手社会人のUターン促進 ・SNSを活用した若者特化型プラットフォーム構築7,931千円(委託料) 				<p>【県外での就職希望理由】</p> <p>(県内大学生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都会での生活にあこがれを感じる:43.1%(1位) ・ 愛媛の企業のことをあまり知らない: 12.2% (6位) <p>(県外大学生: 本県出身)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都会での生活にあこがれを感じる:15.8%(6位) ・ 愛媛の企業のことをあまり知らない: 26.3% (4位) <p>あこがれ度推移 (イメージ)</p> <p>✓ 大学4年間で「都会へのあこがれ」は、相当程度低下 (30ポイント) ✓ 県内企業の認知度向上は、県外・県内の双方の大学生に必要</p>		
地域の多様な 主体の参画	<p>各業界の有識者の意見を取り入れながら事業を設計し、大学・高校等と連携した就職支援を行うことで、若者の県内定着を推進するとともに、県内市町と協働してUターンを促進させる。</p> <p>県による効果検証を基に、学生の意見、コンソーシアムや推進会議における改善提案等を事業に反映させる。</p>				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①若者の県外転出数 (-607人) ②地域へのUIターン数(県への移住者数)(+2,176人) ③南予地域への移住割合 (+4.8%) ④県内大学生・高校生等の県内就職率 (+10.02%) ⑤メルマガ登録数 (+3,640人) 	

※経費内訳はR7年度事業費